

就任にあたって、抱負を聞かせてください。

前任の田原博明教育長時代には、「京都式少人数教育」や「中1振り返り集中学習『ふりスタ』」など、全国のモデルとなるような様々な取組が展開されてきました。今後も京都府ならではの取組をしつかりと継承し、教育の質の向上を図っていきたいと考えています。

また、一昨年に策定した「京都府教育振興プラン」では、基本理念を実現するための10の重点目標と38の主要な施策の方向性について、平成27年度までの5年間で取り組むこととしています。今年度がその中間年ということもありますので、目標達成のために取組を一層充実させていきます。

まず第一に取り組むことは。

安心安全な教育環境づくりです。

いじめや体罰の問題、それから通学路の安全にしても、それらの問題を解決するためには「安心できる学びの場」をつくるという考え方が根底になければなりません。

危険や事故につながらないように施設面や登下校の安全について配慮するのはもちろんですが、学びたい人が安心して学べる教室や、互いに支え合い協調し合える人間関係など、すべての子どもが安心して学校生活を送ることのできる環境をつくり上げることが大切です。

例えば、学校において共生社会のルールを子どもの発達段階に応じて学ばせるカリキュラムを作成し、リーガルマインドを育成することによっていじめや少年非行の問題解決につなげるなど、踏み込んだ、具体的な取組を進めていきます。

今後、教育行政を進めていく上で大切にしたい視点などはありますか。

改革とは、新しいことや流行を取り入れることではありません。グローバル化の進展や高度情報化など、社会が激しく変化する中、本質を見失うことなく、教育の原点に戻って考え、あるべき姿を描いて前に進むこと。それこそが真の教育改革だと思います。

取り組む事業が教育の原点である「人づくり」に有効なものとなっているか、具体的には、児童生徒にしっかりとした学力を身につけ、自立した人間に育てることにつながっているか、十分に吟味し、地に足をつけた教育改革を進めていきたいと考えています。

その他、重点的に取り組むことは。

京都市・乙訓地域の教育制度改革のスムーズな実行と府立高校の特色化のさらなる推進、生活習慣と学習習慣の確立による学力向上と非行防止、それから信頼ある教育委員会・学校となるための積極的な情報発信です。新たな価値を創造し、質の高い教育を実現するためには、人と組織の変革が不可欠です。

「変わらなければ守れない」をスローガンに、学校現場と一体感を持って取り組んでいきます。

府民の皆さん、保護者の皆さんへのメッセージを。

これまで、学校関係者評価や学校支援地域本部の取組により、学校・家庭・地域社会の連携協働を進めてきました。また、今年度からは、PTA・学校・教育委員会が連携した「いじめ・非行防止キャンペーン」もスタートします。

今後、教育を取り巻く環境はより複雑化、多様化するものと考えられ、「社会総がかりで取り組む教育」はますます重要となってきます。保護者の皆さんや地域の皆さんには今後ともご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

教育長に就任した 小田垣 勉教育長を 紹介します

～信頼を確かなものに～



おだ がき つとむ
小田垣 勉教育長

平成25年度に京都府教育委員会が府民の皆さんからお預かりした予算

総額1,884億9,500万円

3つのポイントを重点に、責任をもって教育行政を推進します。

POINT
1

安心・安全な
教育環境づくり

POINT
2

中学校の
学力充実対策

POINT
3

府立高校の
魅力づくり

体罰根絶に向けて

京都府教育委員会はこれまで、体罰に関する実態調査を徹底的に実施するとともに、全ての教職員に対し、体罰に関する意識調査を行いました。

今後、教職員に対し、**体罰は子どもたちの人権を侵害する絶対にあってはならない行為であることを改めて徹底するとともに、学校が組織ぐるみで点検していくことで、体罰を絶対に起こさないよう取り組んでいきます。**

京都府の教育

平成25年度当初予算
総額1,884億9,500万円

平成25年度当初予算や「京都府教育振興プラン」の詳しい内容は京都府教育委員会のホームページに掲載しています。ぜひホームページにアクセスしてください！

京都府教育委員会

検索



1 安心・安全な教育環境づくり

約40億7,400万円

いじめや暴力をなくすために

緊急対策・早期解決

- 「いじめ対策専門指導員」等を派遣し、いじめの早期解消のために学校を指導・支援します。
- 深刻ないじめ事象が発生した学校へ、学校機能の回復や支援を行うための「いじめ危機管理チーム」を派遣します。

早期発見と学校体制の強化

- いじめ対策検討のための有識者会議を設置します。
- 「スクールカウンセラー」や「まなび・生活アドバイザー」等を学校に配置し、早期に発見するとともに相談体制を充実します。
- 教職員研修を充実させ、いじめや非行防止への対応力向上や意識改革を行います。
- 児童生徒の非行や犯罪被害の未然防止、非行からの立ち直り等の支援を推進するため、警察や関係機関との連携を図ります。

未然防止

- PTAと連携した地域ぐるみの声かけ・見守り運動等、「いじめ・非行防止キャンペーン」を行います。
- 人との関わりやいのちの大切さを伝えるため、外部講師を学校に派遣します。

地域ぐるみの安全対策

- 警察官OBや防犯の専門家等からなる「スクールガード・リーダー」の学校巡回指導や、学校安全ボランティアによる登下校時のパトロール等、社会総がかりで子どもを守る活動を支援します。
- 交通安全・防犯の専門家である「通学路安全対策アドバイザー」を派遣し、安全対策への助言を行います。
- 道路管理者、警察等の関係機関と学校が一体となって、通学路の安全を守る体制を整えます。

災害に強い学校づくり

災害から子どもの命を守ることを最優先に考え、平成27年度までに全棟着手できるよう府立学校施設の耐震対策を加速化させ、今年度は新たに22校29棟の工事に着手します。

2 中学校の学力充実対策

約2億200万円

基礎・基本の徹底

- 「中1振り返り集中学習『ふりスタ』」により、小学校段階の学習のつまずきの解消を図ります。
- 「中2学力アップ集中講座」を土曜日等に行い、基礎の徹底や発展学習に取り組むことで、全体の学力アップを目指します。

学校の実践力強化

教員OB、地域の方や保護者からなる「学力向上サポートチーム」を学力向上拠点校に配置し、地域ぐるみで中学生の学力向上を図ります。

すべての教科に通じる読解力の向上

小論文グランプリ、読解力向上フォーラムを行い、中学生の読解力向上を目指します。

学力診断テスト等を全学年で実施

中3の全国学力・学習状況調査に加え、中1、中2においても府の学力診断テストを行い学力をきめ細かく把握することにより、個々に対応した指導や授業改善に役立てます。

3 府立高校の魅力づくり

約11億200万円

高校生の「夢」を叶える多彩なメニュー

- 「研究室」（スクールラボ）を高校内に設置し、大学と連携した共同研究を行います。
- 「高校生カンパニー」が新たな商品ブランドを開発し、企画、生産、販売等を行います。
- 数学や物理の国際大会へのチャレンジを目指し、京都大学と連携したチャレンジ道場を開催します。
- 高校と先端企業の一校一社連携により特別講座やワークショップ、インターンシップを行い、キャリア教育の充実を図ります。



海外留学の促進

海外留学を支援する等の「府立高校生グローバルチャレンジ500事業」を実施します。語学研修に加え、演劇やスポーツなど自分がチャレンジしたい分野を海外で学べるシステムにより、グローバルに活躍できる人材を育成します。募集に関しては裏面をご覧ください。

京都らしい伝統文化を学ぶ

京都にゆかりの深い茶道や華道、古典などを通した伝統文化学習をすべての府立高校で行い、伝統文化への関心を高めるとともに、豊かな感性や人を思いやる心をはぐくみます。



土曜日を活用した教育

土曜日における学校、家庭、地域社会が連携した多様な魅力的な教育活動の実現に向け、昨年度は府内27の小中学校・府立高校で土曜日を活用した教育の実践研究を進めてきました。今年度は実践的な取組が府内全市町（組合）の200を超える学校に広がります。



より深少年自然の家パワーアップ

クラフト実習室を新設し、自然の素材を活かした木工や陶芸などの体験活動を可能にします。また、多くの方に安心して利用していただけるよう、施設設備の改修を行います。完成予定 平成26年3月末

学校改革リーダーの養成

中堅・若手教員のイノベーションリーダーが、大学や企業等での研修を通して高校改革に関わる研究を行い、教育委員会に施策の提言を行います。次世代のリーダー養成と学校現場における改革機運の醸成を目指します。

京の遺産を未来に継承

京都府が世界に誇る貴重な文化財を適切に保存し活用を進めるため、保存修理に関する助成や指導を行うとともに、修理現場の公開を通じて京の遺産を後世へ伝えます。また、郷土資料館では、地域の歴史資料等の収集、調査、展示を行うほか、出前授業や体験事業を実施し、郷土学習を推進します。



特別支援教育の充実

宇治支援学校内に設置している「京都府スーパーサポートセンター（SSC）」を拠点に、府内各地で専門的な研修・研究・教育相談を行います。また、特別支援学校高等部における職業教育のさらなる充実に向け検討を行うなど、発達障害を含む障害のある子どもたちへの、就学前から卒業後に至るまでの一貫した特別支援教育を推進します。



ネットトラブルから子どもを守るために

携帯電話にパソコン並の機能がついたスマートフォンが急速に普及しています。スマートフォンは、多機能ゆえに使いによっては、ネットいじめ、個人情報の流出、クリック詐欺などの危険性があります。トラブルを回避するためには、家庭で相談しよう！

有害情報にアクセスできないよう「フィルタリング」を設定しましょう。

有害情報にアクセスできないよう「フィルタリング」を設定しましょう。

フィルタリング：有害サイトのアクセスを制限するサービス

スマートフォンは、2つの回線からインターネットに接続できます。携帯電話事業者のサービスを利用して、2つの回線それぞれにフィルタリングを設定しましょう。

……みんなで考えたい！子どもたちのこと……

シリーズ人権

「あいさつは、心と心をつなぐ。」



あいさつは漢字で「挨拶」と書きます。「挨」の字は「おす、ひらく」、「拶」は「せまる」という意味です。相手の心をやさしく押し開いて、相手の心に近づいていくことを表しています。

例えば「おはよう」というあいさつは、「お早うから、精が出ますね（朝早くから、頑張っていますね）」を省略したものとも言われ、相手を励ます心が込められています。

あいさつは心と心をつなげ、相手のことを大切にする第一歩です。

皆さん、毎日、元気にあいさつしていますか？

平成24年度人権擁護啓発ポスターコンクール
京都府市長会会長賞
電岡市立大井小学校6年 十倉 希望 さん

いじめ・非行防止 キャンペーン

つくろう 子どもたちを包み込みはぐくむ環境 ～PTAが中心になって～

京都府教育委員会は、いじめや少年非行をなくすため、京都府PTA協議会と連携して子どもたちへの「声かけ・見守り運動」を実施します。

府内中学校PTAが中心となって、様々な団体と一緒に地域ぐるみで行う取組として拡げていきたいと考えています。

皆様のご理解とご協力をお願いします。



ひとりで悩まないで！

いじめられる、学校に行きにくい等、悩みや不安が一人では抱えきれないほどあふれてくる場合があります。京都府教育委員会は、そのような悩みについて一緒に解決の方向を探っていきたくと考えています。

電話教育相談（24時間受付）
ふれあい・すこやかテレフォン
◆075-612-3268 または 3301
◆0773-43-0390

メール教育相談
電話では話しにくいことも、パソコンや携帯電話から電子メールで気軽に相談できます。「メール教育相談 京都」で検索してください。
*携帯電話の場合、受信拒否設定を解除してください。

来所教育相談
京都府総合教育センター（伏見区）及び北部研修所（綾部市）で、臨床心理士、精神科医等が直接会ってお話をうかがいます。

巡回教育相談
乙訓・山城・南丹・丹後教育局、アグリセンター大宮（京丹後市）で、臨床心理士、精神科医等が直接会ってお話をうかがいます。

来所・巡回教育相談のお申込みは、「ふれあい・すこやかテレフォン」にお電話ください。

ネットいじめ通報サイト
ネット上でいじめを発見したら通報してください。◆「ネットいじめ通報サイト 京都」で検索してください。◆携帯電話からも通報できます。



～京料理～ 文化財指定

京都府教育委員会は、全国で初めて「京料理・会席料理」を無形文化財に指定し、その技能保持者として、高橋英一さんを認定しました。



京料理は、京都の歴史とともに発達してきた、日本料理の「出汁(だし)」を基本とする調理法で創作される料理と、それを美しく盛りつけ、配膳して心配りが行き届いたしつらえの中でもてなす、京都の重要かつ伝統的な生活文化の一つです。

瓢亭(ひょうてい)14代当主である高橋さんは、京野菜などの素材を活かした伝統的調理技術に秀で、茶道の精神を背景にもてなしの空間を創り出し、個性豊かな会席料理を提供されています。

現在、全国各地の料理学校や講習会の講師などを勤め、後進の育成と京料理の発展に力を注いでおられます。



きょういく きた みなみ

「発見!! 山城のあゆみ」

山城教育局

山城教育局では、「質の高い学力をはぐくみ、豊かでたくましい心と体を持ち、地域に誇りを持つ子どもの育成」に力を注いでいます。この度、教員に、山城地方の文化や歴史への理解を深めてもらおうと地域・歴史ガイドブック「発見!! 山城のあゆみ」を作成しました。

子どもに文化や歴史を教える教員の学びの一助となり、子どもたちの郷土を愛する心がより一層はぐくまれるよう役立てたいと考えています。



～「人と人」「地域と人」をつなぐ～

南丹教育局

南丹地区子育て支援協議会は、安心して子育て・親育ちができる環境づくりを目指して活動しています。

しつけをテーマにした「本音トーク」や読み聞かせに活用できる「ものづくり」、心身の健康を考える「ふれあい体操」といった参加体験型の研修会を開催するなど、参加者が楽しみながら学び、他者と触れ合いながら自分の思いが言い合える工夫を行っています。

「やさしい気持ちになれる」「もっと話したい」と思える人間関係の輪を広げるため、これからも『学校・家庭・地域』をつなぐ応援団として活動を続けていきます。

平成25年6月30日(日)『なんたん子育てフォーラム』開催



『なんたん子育てフォーラム』
講座「つくって楽しむおはなしの小道具」



『なんたん子育てミニフォーラム』
講座「コミュニケーションを楽しもう」

海外に留学したい高校生 集まれ!

～府立高校生グローバルチャレンジ500事業～

京都府教育委員会では、国際社会で活躍できるグローバル人材を育成するため、海外に留学する高校生を応援します。

エディンバラ語学研修補助事業

京都府と友好提携を結んでいるエディンバラ市にある「エディンバラカレッジ」での語学研修に参加する生徒に、費用の一部を補助します。

研修期間 平成25年7月26日(金)～8月20日(火)

募集人数 20名 募集時期 平成25年5月中旬

参加費用 45万円程度(うち25万円を補助)

海外短期留学チャレンジ補助事業

英語圏での語学学習に加え演劇やスポーツなどにチャレンジする府立高校生を応援するため、留学費用の一部を補助します。

留学先を自ら見つけるところから、チャレンジは始まっています。

対象となる留学 ・平成25年4月～平成26年1月の間の1か月程度の留学

・英語を公用語とする国または地域で週15時間以上の語学研修を2週間以上実施

募集人数 70名 募集時期 平成25年5月中旬～6月末

補助の対象とする経費のうち1/2を補助(1人あたり25万円を上限)



申込方法などのお問い合わせ先 在学する府立高校又は京都府教育庁指導部高校教育課振興担当 ☎075-414-5849・5815

高校生の修学を応援しています

京都府では、平成22年度から府立高校の授業料を徴収しないこととしています。また、勉強意欲がありながら経済的な理由により修学を断念することがないように、高校生等修学支援事業(貸付)を実施しています。

詳しい内容は、各高等学校等を通じて配布する「貸与申請案内」又は高校教育課のホームページ(<http://www.kyoto-be.ne.jp/koukyou/>)でご覧いただけます。

高校生等修学資金貸与(貸付)事業の申込みは、以下のとおりです。

高等学校等修学資金(修学金・修学支度金)貸与制度

対象 高等学校等に在学する生徒

受付 随時(申請日の翌月分からの貸付)各校へ提出

ただし、平成25年度新入生で、4月分からの貸付希望者は5月15日(水)まで(既に貸与予定決定を受けている方は4月30日(火)まで)

修学支援特別融資利子補給制度

対象 高等学校等に在学する生徒の保護者

受付 5月15日(水)まで(定員あり)各校へ提出

※いずれも保護者等が府内に在住していること、世帯又は保護者の所得基準等の要件がありますので、詳しくは「申請の手引き」をご覧ください。

お問い合わせ先 在学する高等学校等又は京都府教育庁指導部高校教育課修学支援担当 ☎075-414-5856・5154